

食いしん防災コミュニティ部会がいく！

(第92回 2026年1月)



正月らしいことは書かない、と決めているこのコラム。今年もそのこだわり（へそ曲がり？）を貫いていきたい。

妖怪人間ベラ似の食いしん防の奥さま。先月号の Q&A コーナーにも書いた通り、このところ貫禄が増してきて、体型的にベラから離れつつあった。本人もあせりを感じはじめた（お気に入りだった服が着られない！）のか、「運動をする」と宣言した。「健康のため」と言っているが、目的がダイエットであることは、火を見るより明らかだ。

宣言した日の晩ご飯を食べた後、「ほなウォーキングに行ってくるわ」と席を立った奥さまに、食いしん防は問いかけた。

「どうしてこんな暗くなってから歩くのですか？（敬語）」

「だって、近所の人に見られたら、恥ずかしいやないの」

その気持ち、わからなくもない。「気ィつけて行きや」と送り出した。

夕食後のウォーキングを始めて2週間後、東近江市議会選挙で候補者の選挙カーが走るようになった。その初日——

近所の家の前を通りかかった奥さまが、某候補者の選挙カーと遭遇した。奥さまを見たウグイス嬢が、マイクをつかんで叫んだ。

「ウォーキングご苦労さまです！」

奥さまはくりりとUターンし、全力で走って逃げた。



さらに1週間後、選挙運動の最終日——

まったく同じ場所で、同じ選挙カーと出くわした。マイクが叫んだ。

「……お散歩、お疲れさまです！」

奥さまはもはや走る元気もなかった。

それから数日後——

奥さまは、おごそかに宣言した。

「寒くなってきたから、しばらく歩くのをやめる。春になって、また暖かくなってきたら再開するわ」

元ベラ似奥さまの巨大化は、しばらく止まりそうもない。



TOPICS

☆直下地震の被害想定は？

昨年暮れ、首都直下地震の被害想定が、政府から発表された。震度7クラスの巨大地震に東京が襲われた場合、最大で**1万8千人の死者**が出るというのだ。食いしん防は専門家ではないので、この数字の妥当性は判断できない。しかし、倒壊や火災によって失われる建物が**40万棟**と聞くと、にわかに不安が増してくる。本当はもっと大きな死者数の想定もあったのだが、前回の発表より対策が進んだことをアピールするため、わざと減らしたのではないかな……

では、東近江ではどうなっているだろう？ 調べてみると、南海トラフ地震の被害想定として、死者**10人**、建物の全壊**2千棟**。滋賀県全体で、死者**400人**、建物全壊**1万6千棟**とのことだった。直下型地震のデータは見つからなかった。

東京の場合もそうだが、最悪というには人的被害が過少に見積もられている気がしてならない。想定通りの建物倒壊や火災が発生したとすると、死者の数十倍に及ぶ負傷者が出るはずだ。しかしその膨大な数に、医療機関や医療従事者は対応できるのか？ 負傷者や体調を崩した人を、治療できる場所まで運んで行けるのか？ 医薬品等は十分足りているのか？

記事をよく読んでみると、想定死者数は地震が原因で直接亡くなった人だけで、いわゆる災害関連死は含まれていないとのこと。だから**実際の被害はもっともっと多くなる**と覚悟せねばならない。

関連死を減らすためには、政府や公的機関に頼ってばかりではいけない。住民自身の手で、その穴を補填する必要がある。だからこそ**自主防災は大切！** 1月に開催される「倒壊家屋からの救出訓練」、まずは防災推進員さんから、ぜひともご参加ください！



今後の活動予定

1月25日 こと防全体研修「倒壊家屋からの救出訓練」

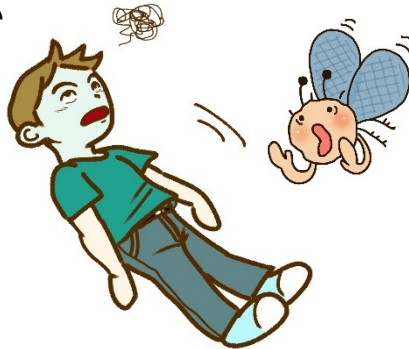
※ 出前講座の申し込み受け付けます！



勝手にQ&Aコーナー

Q：首都直下地震の被害想定、発表されたものを読んだだけでも、「これが本当なら日本滅亡か」と心配なのに、もっとひどくなる覚悟をしなければならないとしたら、不安で夜も眠れません。

A：かつては、悪い知らせをもたらした使者は殺されたそうですが、政府も悪いことは発表しにくかろうとお察しします。しかし使者を殺しても、問題は解決しません。問題から目をそらすより、少しでも解決の方向へ進む努力をするのが、現代に生きる我々の務めではないでしょうか。……とカッコつけてみたけど、とりあえず日本全体のことで、まずは自分と家族が生き残る道を探れば、眠れるようになるのではないのでしょうか



Q：久しぶりに奥さまの近況が聞けて安心しました。「また暖かくなったら再開する」と言っておられるのだから、信用してさしあげたらいかがでしょう？

A：フフッ、あなたは我が奥さまのことをわかっていない。実は奥さまは先立つ春にも「健康のために歩いて」いたのです。そして10日ほど続けた後、「暑くなってきたからやめる。また涼しくなったら再開する」と言った前科があったのです。まあ確かに再開はしたわけですが……



楽しい質問、お待ちしております！

(文責：こじまっちょ)

